

申立書

私は、以下の理由のとおり、旭市住民税非課税世帯等物価高騰対策給付金（家計急変世帯）の支給要件に該当することを申し立てます。

記

(理由)

令和 年 月 日

旭市長 殿

申請者氏名 (本人自署)

この申立書は、以下のような場合に該当する方が「旭市住民税非課税世帯等物価高騰対策給付金（家計急変）」を申請する際に、「簡易な収入（所得）見込額の申立書【家計急変世帯】と一緒に提出してください。

「簡易な収入（所得）見込額の申立書【家計急変者】」の記載欄 2 において、**収入が無かった月を任意の月とした者**

⇒**いつの時点から無収入か、予期しない家計の急変であることの詳細について記入**

(注)

- ・定年退職による収入の減少や、年金が支給されない月や事業活動に季節性があるもの等の通常収入が得られない月の収入等、当該月に収入がないことがあらかじめ明らかであるものは該当せず、当該月を任意の 1 か月として申請することはできません。なお、不法行為に起因する収入の減少は、「予期せず家計が急変」に該当しません。
- ・収入の減少がない場合は対象となりません。

【証明書類】 収入状況が分かる通帳の写し その他()

【 申立理由の例 】

・新型コロナウイルス感染症の影響により、〇〇（収入を失った状況）、令和〇年〇月の収入がありませんでした。

・令和5年度住民税課税世帯ですが、失業後、新型コロナウイルス感染症の影響により現在まで無職で収入がありません。

・〇〇のため、収入が分かる資料を持っていません。

※〇〇には「請負・日雇いの仕事を失ったため」、「自営業を休業したため」、「DV で避難しており通帳を持っていない」など、収入を失った状況や資料が添付できない理由等を記載。

・離婚により元配偶者が家計に入れていたお金がなくなったため。

・令和5年度住民税課税ですが、子供が生まれ新たに扶養親族としたことで住民税非課税相当の水準となりました。

・定年退職（自己都合退職）後に、再就職する予定でしたが、予期せず〇〇〇〇〇〇〇〇により再就職が難しくなり、収入が得られなくなってしまいました。